



PARADISE AIR に滞在する海外アーティスト 2 名が 市長表敬訪問・滞在報告会を実施します

松戸市では、2013年にアーティスト・イン・レジデンス事業（※1）を立ち上げ、松戸駅前の旧ホテルを活用した活動拠点「PARADISE AIR（※2）」として、国内外のアーティストによる滞在制作を支援しています。今回、3カ月間の長期滞在中の海外アーティスト2名が、市長表敬訪問と滞在報告会を行います。

【市長表敬日程】

日時 令和7年7月8日（火）15時～15時30分
場所 松戸市役所新館5階 市民サロン
訪問者 ロングステイアーティスト2組、一般社団法人PAIR（※通訳あり）

【滞在報告会日程】

日時 令和7年7月21日（月・祝）18時～19時30分
場所 松戸市民会館 303音楽室（松戸市松戸1389-1）
報告者 ロングステイアーティスト2組、一般社団法人PAIR（ペア）
費用 無料 ※通訳あり、参加費無料、入場自由

※1 アーティスト・イン・レジデンス(Artist-in-Residence)事業について

アーティストが特定の場所に一定期間滞在し、地域がその創作活動やリサーチを支援するアートプログラム。アーティスト側は、地域の歴史、文化、人々との交流を通し、新たな刺激やインスピレーションを得て作品制作を実施できること、受け入れ側は、アーティストと市民との交流を通じた文化振興等につなげることができる。

※2 PARADISE AIR(パラダイスエア)とは

松戸市で展開しているアーティスト・イン・レジデンス事業の名称。松戸駅西口近くにあるパチンコホール楽園（運営：株式会社浜友E.F.）の協力により、かつてホテルだったビルを制作拠点として活用していることから、楽園を意味する“PARADISE”と、アーティスト・イン・レジデンス（Artist In Residence）の略称“AIR”から、PARADISE AIRと名付けている。江戸時代、水戸街道の宿場町として栄えた松戸駅前の歴史を踏まえ、「一宿一芸」をコンセプトに、今年で活動13年目を迎え、累計約700組のアーティストが滞在制作を行っている。



【滞在アーティスト紹介】

キラル Kiral

- ベルギー出身、コペンハーゲン（デンマーク）を拠点に活動するトランスメディア・アーティスト。
- 早稲田大学在学中に、直島（香川県）でジェームズ・タレルの作品に出会ったことで、アーティストになることを志す。
- 松戸での滞在では、パチンコ台、未来、宇宙を制作テーマとし、滞在中は、市内パチンコ店での撮影、パチンコ博物館の見学など実施。
- 松戸一中美術部38名と「未来の地図」を作成するワークショップを実施。生徒からは「未来を考えるきっかけになった」と新たな気づきを得る機会になった。
- 最終的には展示空間全体を作品として体験させるインスタレーションを制作予定。



ワンタニー・シリパッターナンタクーン Wantanee Siripattananuntakul

- タイ出身、ノンタブリー在住のアーティスト。
- 経済的不平等や所有の不確かさ、人間と非人間的存在との関係性に焦点を当てて活動している。
- 2009年には第53回ヴェネチア・ビエンナーレのタイ代表に選出される。
- 松戸での滞在では、日本とタイの空き家事情の比較分析を制作テーマとしている。滞在中は、市内空き家見学、江戸川での写真撮影などを実施。
- 最終的には映像作品を制作予定。



【本件に関する問い合わせ先】

〒271-0073 千葉県松戸市小根本7-8 京葉ガスF松戸第2ビル6階
松戸市文化スポーツ部文化スポーツ政策課

☎047-712-1593 FAX047-711-6387

✉ mcbunkasports@city.matsudo.chiba.jp